



金澤北ロータリークラブ



ガキ大将(1)

渡邊 聡

「ガキ大将の資格」

ガキ大将という言葉は一般的にどのように受け止められているのだろうか。

辞書では、「ガキ大将・いたずらざかりの子供仲間のかしら」「腕白小僧・無理を言い、いたずらする子供のこと」となっているが何か少し欠けている。子供の成長過程において、集団での遊びは非常に大切で、この遊びの中から多くの社会性が培われてくる。従って、外で多く友達と遊んだ子供と家の中にもっていた子供とでは大人になってから社会性の面で大きな差となって現れ、極論をいえば、活動的で明るく人から好かれる性格となるか、あるいは、内面的でおとなしく、場合によっては陰湿なイメージで人から避けられるようになると言っても過言ではない。

集団で遊ぶ(行動する)ということは、その中に集団全体をまとめるボスが必要であり、必然的に生れてくるものなのだ。このボスをガキ大将と云い、子供たちのリーダーなのである。従って、腕力が強くイタズラする腕白小僧ではリーダーには絶対なれない。リーダーは集団をまとめる能力と子供たちの人気が必要であり、信頼された子供だけの特権としてガキ大将になれるのだ。特に、女の子からの信頼は欠かせない。

普段は少々ヤンチャで無理を言うことがあっても、その中に正義感と愛情がなければ信頼と人気は得られない。勿論、腕力もほどほどに必要であり、他から自分のグループの子がイジメられた時には、敢然と立ち向かい自分のグループを守る親分的な義侠心も発揮しなければならない。そして、喧嘩に負けても絶対に降伏しないという強い意識も必要だ。

昔は、喧嘩で殴り合ってもカラッとしたものであり一日たつと何事も無かったように付き合っていた。それでも、陰湿なイジメは少なからずあった。だが、今日のように度が外れたものではなかったと思う。グループの子供たちには、ボスが自分を守ってくれるという安心感が必要なのだ。また、グループ内では公正な行司役であり、えこ最良は絶対に許されない。

これらのことがガキ大将の絶対条件であり、どれ一つ欠けても子供たちは付いてこない。そこに子供同士

をつなげる信頼の世界があり、極論すれば親の言いつけよりもガキ大将の言いつけを重視したのである。ガキ大将は小学校6年生までであり、中学生になると自然にその集団と決別する。

小学生の視点では中学生は大人になってみえ、自分達とは違った世界の人と映るのである。従って、小学5年生になると次は自分たちがボスの役割をしなければならぬとの自覚が生れてくる。こうして自然のうちにガキ大将が交代される。

「ガキ大将の喧嘩」

ガキ大将がする喧嘩は自分と同等かあるいは自分より上の子である。自分より年下の子や弱い子が悪い事をしたときには強く叱るが決していじめはしない。昔は、タンコブや擦り傷程度のケガなどが有っても“子供の喧嘩に親は出ない”が鉄則であった。子供の世界のことであり、子供たちだけで解決することが一番良いとの考え方であったのであろうか。あるいは喧嘩両成敗の考え方だったのだろうか。

多くの大人達は、誰が見ても目に余る時には仲裁をして、子供に意見をし、その子供に謝りに行かせたし、時には親も一緒に謝りに行った。そのとき、ほとんどの家では子供のことだからと水に流してくれ、長く根に持つようなことはなかった。

これらのことで、その子供は“自分が本当に悪かったのだな”と、喧嘩の程度などを含め自然のうちに学んだのである。また、“遠い親戚より近い他人”というように、親同士の近所づきあいも非常に旨くいっており、子供同士の喧嘩などは大した事件にはならなかったのだ。近年、この近所づきあいすら疎ましく思う人が多いという。

大人の目で見える感覚と子供たちが持つ感覚には大きな隔たりがあり、大人の視点での判断を子供たちにゴリ押ししてはいけない。また、あまり手を貸してもいけないのである。

近頃の親たちは一方的に相手が悪い。そして、ガキ大将は悪い子供と一方的に決め付けてしまっている。悪ガキとガキ大将とを混同しているようだ。本来は、悪ガキとガキ大将とはぜんぜん違うのである。

(つづく)

遊びの思い出

玉田 善明

今話題の団塊の世代の私達の幼少時代は、戦後の復興期の雰囲気はまだ残っていた時代でした。その頃の遊びは本当に楽しく、大人が一生懸命に仕事をしているのが気の毒な思いで、私は一生子供で居続けたいと真剣に思っていたものでした。

先ずは「ケンケン」「剣玉」「ベッタン」「コマ」「ビー玉」「探検」「チャンバラ」「シャクリン馬」「日光写真」が幼稚園から小学校の中頃、それから「ソフトボール」「プロレスごっこ」と続きます。

私の年子の弟、山田の直ちゃん、森の庄しゃん、林のボボチン、小畑の文明と遊ぶ相手に不自由はしません。私の呼び名は「アンちゃん」弟は「トシボー」で近所では知られた悪ガキ兄弟だったかも知れません。洩垂れ小僧が一所懸命にベッタン、ビー玉の遣り取りをして悔しがったり、誇らしく思ったり。探検は町内に秘密の「・・山」とか作り、たまり場にして、時々は卯辰山迄遠征をしたり、兼六園に椎の実を拾いに行ったり、冬の寒い朝は、早く小学校に行つて「シャクリン馬」で一汗かくのが楽しくて

いつまでも止められなかったものです。

ソフトボールを芳斉町小学校でして、空が茜色に染まる頃、母が「夕飯だからもう戻って来い」と呼びに来てくれた時の、何となく未練があるようで、嬉しく思った事が忘れられません。

街には日通の馬車がまだのんびりと荷物を運んでいた頃、チンチン電車が白銀町を行き来して、120 m四方程が子供の世界の縄張りであったあの頃がとても懐かしく、宝物の時代です。家は簡素で、水鼻を拭いた袖口がピカピカに光り、少し硬く成ったその袖口で又、鼻を擦る子供達の世界を生きて来た私。

子供は子供らしく遊びに没頭して生きて、其の中にも年長の子はそれなりに年下の子の面倒を見て、縄張り外では別のグループが存在し、それなりに対抗意識を持って団結していた時代がとても輝いて見えます。

(遊びの具体的内容は割愛しますが、後日機会があれば詳細を説明します。)

2007～2008年度 委員会名簿

| 委員会 | 委員長 | 副委員長 | 委員 |
|---------|-------|-------|----------|
| 社会奉仕 | 銭亀賢治 | 上田忠信 | 橋本、渡邊、滝 |
| 環境保全 | 川口喜樹 | 横井清治 | 坪田 |
| 地域開発 | 本岡三千郎 | (本岡) | 深山、森 |
| 新世代会議 | 高島菊丸 | | |
| 国際奉仕 | 磯野進吾 | 吉井 清 | 桜田、二塚 |
| ロータリー財団 | 高岡 昇 | 濱井弘利 | 五十里 |
| 米山記念奨学会 | 玉田善明 | 澤田光夫 | 内堀 |
| 職業奉仕 | 佃 一成 | 畠 善昭 | 松平、卯野 |
| クラブ奉仕 | 合田昌英 | 大村精二 | |
| 例会 | 本多弘夫 | 中村芳明 | 川面、辻 |
| 会員選考 | 大澤久廣 | 松本範夫 | 佐賀、汐井 |
| 企画 | 木村功一 | 滝川真人 | 馬場、飯田 |
| 広報 | 的場晴次 | 南 友裕 | 魚住、木下 |
| 修練 | 長谷川壘人 | (長谷川) | 俵、米澤 |
| 親睦 | 中田秀雄 | 小川克己 | 小泉、山上、坂口 |
| 友好 | 越田和好 | 勝田浩之 | 高島、奥田、岡田 |

表紙作品「^{かざはな}風華」2006年 日彫展出品 高さ120cm

彫刻 銭亀賢治

爽やかな風に誘われ、ちょっと気取った女性の晴れ姿に愛する人とのめぐり会うときめき。愛は人を強くする、豊かにする、美しくする。親愛の心や愛し敬う心の美しさを求めて、、、

第1613回例会

3月1日(木) 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

石川県創作紙芸研究会
会長 庄田利男氏
「雛人形を創る」



2. 出欠

出席 44名 欠席 19名
出席率 69.84% ビジター 9名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 中村哲郎 北川 真
金沢東RC 中村 泉 二木克明 小池田康成
金沢西RC 川口征弘 戸水義雄
金沢南RC 塩梅 修
香林坊RC 村田秀彦

4. お誕生日祝い(敬称略)

1日 馬場 貢
2日 中村芳明
4日 横井清治
5日 滝川真人
8日 中田龍一
11日 勝田浩之
25日 畠 善昭
29日 汐井俊彦
30日 深山 彬

5. ご結婚記念日祝い(敬称略)

4日 滝 憲三
6日 小間井宏尚、松田忠秋
7日 上田忠信
11日 米澤真二、大澤久廣
12日 川口喜樹
22日 玉田善明
27日 磯野進吾
28日 馬場 貢
29日 佃 一成
30日 畠 善昭
31日 卯野正博

ニコニコボックス

米澤(真)君、松田君

冬も終わり、春の日差しの今日、楽しくなります。講師の庄田様をお迎えして。

越野君 この度、名誉会員となりました。

銭亀君 この度、会報表紙に作品を載せて頂き、感謝しています。

中田(龍)君

64回目の誕生を祝って頂き、有難うございます。

勝田君 誕生月です。お陰様で半世紀、生かされました。

滝川君 誕生日のお祝いを頂き、有難うございました。
馬場君 お誕生日プレゼント、有難うございました。
滝 君 結婚祝いを頂きまして、有難うございます。
小間井君、卯野君、大澤君
スッカリ忘れていました。結婚記念月です。
合計 30,000円(累計 1,003,600円)

第1614回例会 夜間例会

3月8日(木) 雪 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

金沢子ども読書研究会
常任理事 福田芳子氏
「荻谷の民話“はぐすけ”と
日本の昔話“うらしまたろう”」



2. 出欠

出席 34名 欠席 29名
出席率 53.97% ビジター 6名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 池田典明
金沢東RC 東 裕俊
金沢西RC 古谷謙明
金沢南RC 荒井源空 町 寿
みなとRC 水島栄美子

ニコニコボックス

米澤(真)君、松田君

3月になり、この冬一番の積雪になりました。

高島君 福田芳子先生をお迎えし、民話「はぐすけ」と昔話「うらしまたろう」を聴かせて頂きます。宜しくお願いします。

佃君 先週の例会で、結婚記念日を祝福されました。

汐井君 誕生祝、有難うございます。

合計 10,000円(累計 1,013,600円)

理 事 会 報 告

3月8日(木) 出席者 18名

◆ 審議事項

- ①新会員の件 4月理事会にて審議
- ②現代美術展後援の件 承認
- ③浅の川園遊会協賛の件 承認
- ④地区より拉致被害者家族支援義捐金のお願いの件
会員一人当たり 100円の義捐金に協力
- ⑤その他

◆ 各委員会報告

例会：4月5日(木)百万石RC合同花見夜間例会
開催時間は19時とする。

会員選考：会員増強の件

企画：今後の講話予定

職業奉仕：来週(3/15)日本銀行見学

地域開発：城北地区開発促進同盟会への寄付は5月



会 長：米澤 真二 S A A：山上 公介
 会長エレクト：小間井宏尚 会 計：勝田 浩之
 副 会 長：磯野 洋明 広報委員長：的場 晴次
 幹 事：松田 忠秋 会 員 数：64名
 副 幹 事：中田 龍一 クラブ設立：昭和48年10月3日

例 会 日：木曜日 12:30~13:30
 例 会 場：松魚亭 金沢市東山1-38-30
 TEL<076>252-2271 FAX252-2273
 事 務 局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
 TEL<076>222-2525 FAX224-2882
 E-mail:k-kitarc@aqua.hokuriku.ne.jp